

## トヨタ紡織、ネットゼロ目標の SBT 認定を取得

トヨタ紡織株式会社は、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガスの排出削減目標「SBT (Science Based Targets)」を認定する機関である SBTi<sup>※1</sup> より、トヨタ紡織グループが設定した温室効果ガス排出削減目標において、今回新たに「ネットゼロ目標」の SBT 認定を取得しました。

ネットゼロ目標は SBTi 基準に沿って 90%を直接排出削減し、残存した排出量は炭素除去により中和するものです。2019 年比で、Scope1 と Scope2 排出量を 90%、Scope3 排出量を 90%以上削減した上で、削減が困難な残余排出に対しては、大気中からの除去および恒久的な貯留による「中立化」を通して、実質の排出をゼロとすることを目指すものです。

トヨタ紡織グループは「地球環境保護を重視した企業活動の推進」を基本理念に、持続可能な社会の実現に向け、トヨタ紡織グループ一体となって地球環境保護に貢献していきます。

### ■SBT 認定を取得した温室効果ガス排出削減目標

対象	短期目標	ネットゼロ目標
	2030 年度 <sup>※2</sup> (2019 年度 <sup>※3</sup> 比)	2050 年度 <sup>※4</sup> (2019 年度 <sup>※3</sup> 比)
Scope1 <sup>※5</sup> 、Scope2 <sup>※6</sup>	50%	90%
Scope3 <sup>※7,8</sup>	30%	90%



※1 Science Based Targets initiative : CDP、UNGC (国連グローバル・コンパクト)、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) による共同イニシアチブ

※2 2030 年度 : 2030 年 4 月～2031 年 3 月

※3 2019 年度 : 2019 年 4 月～2020 年 3 月

※4 2050 年度 : 2050 年 4 月～2051 年 3 月

※5 Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)

※6 Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

※7 Scope3 : Scope1、Scope2 以外の間接排出 (事業者の活動に関連する他社の排出)

※8 2030 年度目標の Scope3 はカテゴリー1 [購入した製品・サービス]のみ対象

### 【トヨタ紡織 ウェブサイト (環境)】

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/csr/environment/>

### 【2022 年 10 月 21 日社外公表 (SBT 認定に向けたコミットメント)】

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/post-145.html>

### 【2024 年 10 月 31 日社外公表 (SBT 認定を取得)】

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/post-184.php>